

【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒
～夢の実現～〈重点目標〉目標に向かって、学びを活かし自己表現できる生徒

原町三中だより



平成27年11月26日(木)第18号

発行責任者: 校長 荒木 幸子

TEL 22-3802

期末テスト そして 三者面談と進路選択

11月の3連休最終日には冷たい雨が降り、北東北では積雪の報道がされていました。冬の訪れを感じます。生徒の皆さんは期末テスト前ということもあり、勉強に明け暮れたのではないかと思います。

さて、昨日まで2日間には期末テストが行われました。どのクラスも真剣に問題に立ち向かっている姿が見られました。お子さんの学習に関する評価は4つの観点(態度・思考・技能・知識・国語は5観点)で総合的に評価されますが、期末テストでは知識・思考・技能をまとめて出題しています。もちろん通知表の評価にも反映されます。期末テストで自分の実力やできること、できないことを知ることが大事ですが、それ以上にできなかった所をもう一度やり直して自分のものにすることがとても大切です。それが入試合格につながっていきます。11月30日からは三者面談です。3年生にとっては、2・3か月後に高校入試を控え進路の最終選択となります。成長途上の14・15歳ですから、もちろん「夢や希望」は持っているとは思いますが、最後の決定の時には保護者の皆様の的確なアドバイスや判断は必要であると思います。十分に話し合っ、最良の選択をして下さい。1・2年生はまだまだなどと思っていると、アッという間に月日は流れます。そして、高校入試問題は3年生で習った内容だけではなく、3年分の内容が均等に出るのです。今回の期末テストの問題が、高校入試に出るかもしれません。だからこそ十分にお子様と話し合っ、早く目標を決めることが大切です。この三者面談で、担任の先生と十分に話し合い、お家で、さらにもう一度お子さんと話し、3年生は進路を決定し、1・2年生は充実した学校生活につながるようご協力下さい。また、学校への要望等がありましたら、遠慮無くお話し下さい。真摯に対応してまいりたいと思います。



真剣な授業風景



県新人大会 応援ありがとうございました

女子バドミントン部ダブルス 東北大会出場決定おめでとう

男女バドミントン部

10月31日、11月1日白河中央体育館で行われました。まず団体戦、女子は稲田中に勝利、川谷中に惜敗はしましたが、見事にベスト8、県の強化チーム入りを果たしました。男子は接戦でしたが白河二中に勝つことができず、勝利は来年に持ち越しです。

個人戦では、佐々木・内藤ペアが本宮一中、若松四中のペアに勝利、ベスト8で東北大会出場を決めました。その他にもシングルの佐藤君、折笠さん、ダブルスの庄司・鈴木ペアがベスト16、もう一つ勝てば東北大会という素晴らしい戦いぶりでした。去年は全員が県大会は1回戦敗退でしたので大躍進の活躍でした。東北大会は12月26日、27日青森県武道館で行われます。健闘を祈ります。

柔道部

11月14日、15日、国見町柏葉体育館で行われました。団体戦は、3チームのリーグ戦。醸芳中、郡山一中に惜敗。リーグ3位でした。個人戦は、石橋君がベスト8、江井君がベスト16の活躍でした。柔道部も去年は全員が1回戦敗退でしたので、大きく成長した戦いでした。来年の中体連に期待します。

野球部

10月25日、郡山市ふるさとの森野球場で、中村二中と合同チームで出場。富田中学校に3-0で惜敗、2年連続の優勝への夢は絶たれました。合同チームという難しい環境の中よく頑張りました。(9人中6人は本校生徒)

ソフトテニス部県大会

個人戦は11月8日あづま庭球場、雨の中行われました。木村・玉川ペア、池田・高田ペアともに惜敗。団体戦は、11月14日森合庭球場で行われました。こちらも大雨の大会でした。高田中に勝利も準優勝した小原田中に惜敗。リーグ2位で惜しくも決勝トーナメントには進めませんでした。来年こそ決勝トーナメント入りを果たせるよう応援しています。

野球部・相双選抜

野球相双選抜には本校から4名の選手が参加しています。その県大会が11月15・21日に行われました。決勝まで勝ち進み須賀川選抜に4-2で勝利、見事優勝です。

心に響く 深い感動「命の教室」

去る11月18日(水)、広報学年委員会との共催で「命の大切さを考える講演会」「全校道徳 命の教室」を行いました。昨年は、佐藤真海さんをお呼びして「夢の実現」をテーマに全校道徳を行いました。今年はいじめや自殺報道が後を絶たない時代背景を鑑み、「生命の尊重」をテーマとしました。

今回の講演は、秋田市で動物病院を開業している坂本尚志様をお迎えしました。希望された保護者の方にも聴講していただきました。



まず、講師の坂本先生の秋田県動物管理センター所長時代の映像(「みんな生きている(捨てられる命)NHK教育平成20年に放送)を鑑賞し、その時の辛かった経験が「命の教室」を始めたきっかけとなったことが話されました。また、幼くして亡くなった宮越由貴奈ちゃんの「命」という詩の朗読があり、講演のテーマである命に焦点をあてた導入となりました。

講演は、本校の生徒と先生の心臓の音を実際に聞く場面があったり、坂本先生ご自身が交通事故によって右足を切断したことにより獣医師の夢をいったんあきらめた挫折体験のお話があったり、質問をして一人一人に答えてもらう場面があったりと、講演時間があっという間に感じられる充実した内容でした。心に響き思わず涙する話もあり、生徒たちもお話に引き込まれていきました。そして、終始「世界で一番大切な人は自分自身である」「自分を大切に生きてほしい」という強いメッセージが発せられました。

講演後にそれぞれの生徒に書かせた感想文の一部を紹介します。「始めの映像を見て、私はとても悲しくなりました。もし自分の愛犬が…と思ったら胸が締めつけられました。でもあの映像を見たらどんなに小さな命でも大きな命でも大切にしていこうと思いました。」「小学4年生で亡くなった由貴奈さんの命の詩を聞いて、生きたくても生きられない人もこの世にいるのだから、やはり自分の命は大切にしていかなければいけないと思いました。」「心に残ったことは、世界で一番大切な人は誰?という質問で、私は家族だと思いましたが、本当に一番大切にしないといけないのは自分なんだと思うようになったことです。」「命の授業をまだ受けてない人に命の大切さを知ってほしいので、授業で学んだことを話していきたいと思いました。」「今回、坂本先生が、どれだけつらい壁にあたっても、それを乗り越えて、今あんなに明るく生きている姿をみてとても感動しました。自分もこれから人生を歩んでいく中で、いろいろな壁にあたることがあると思います。しかし、そこで止まるのではなく、乗り越えてどんどん先に向かっていきたいです。」「また、参加された保護者の方は、「ユーモアのある話の中にも命の大切さを考えさせられ感動し、涙しました。」「多くの犬猫の命が施設の中で奪われている映像を見てショックでした。私たちは命の重さをしっかり知るべきです。また、一番大切な人は…「自分」と坂本先生に言われ気づきました。鏡に映る自分を褒めると、自然と元気が出てきます。また、つらいことを乗り越え、あきらめずに頑張ればうれしさは倍になってかえってくると先生のお話を聞いて再確認しました。」「との感想が寄せられました。

生徒たちの中には、大震災の津波で親しい友人を失ったり、原発事故による避難で絶望的な気持ちを味わったりしたつらい経験をしてきた生徒もおり、また、思春期特有の人間関係に悩んでいる生徒もいます。そのような中で今回の講演会は、つらかった自分を労って、それを乗り越えてきた自分に感謝しようと伝えてくれました。より自分自身を大切に、自ら命を絶つことなどなく、生きる希望をもって、社会の荒波を乗り越えていく勇気を生徒達にいただいた素晴らしい講演会でした。

【12月】学校経営の重点

「豊かな実りと充実の2学期のまとめの月」

- 1 生徒も教師も2学期のまとめをする。(学級づくり、人間関係、学力、部活動等)
- 2 健康の保持増進、安全指導の徹底を図る。(交通事故、インフルエンザ、食中毒の防止等)
- 3 進路指導の重点的な取り組みをする。
- 4 冬休みの計画作りと事前指導の徹底を図る。



1日(火)	三者面談(11月30日～8日)	13日(日)	アンサンブルコンテスト相双大会
4日(金)	第6回3年実力テスト	21日(月)	1, 2年実力テスト
6日(日)	野馬追いの里健康マラソン	22日(火)	第2学期終業式 美化活動 ワックス塗布
11日(金)	給食集会	24日(木)	冬休み始(～1/7日)